

令和元年第2回定例会

公明党議員団ニュース

調査なくして発言なしとは公明党の伝統です！会派の政務活動内容を定例会ごと「通信」また「ニュース」としてご報告しています。読まれてのご意見、ご感想をお待ちしています！

通学や散歩ルート等の安全確保を！



6/19、公明党議員団代表質問を行う
米田かずや

問 事故から子どもを守るため以下の3点を提案する。所見は。
① 通学・散歩ルート等の総点検や、警察など関係機関と各園、保護者が連携し情報共有できるように

にすること。② ガードレールの設置や園児らの活動区域を知らせるキッズゾーン等を設置すること。
③ 安全対策には子どもの視野を体験できる眼鏡、チャイルドビジョン等を活用し、子どもの目線や行動特性を踏まえること。

答 ① 安全対策の再確認に加え、緊急対策として区立、私立園の各施設長が集まり、散歩ルート等の危険箇所の抽出と情報共有を行っている。危険箇所は現地調査実施の上、警察や道路管理者と連携し、ガードレール等の設置により改善に努める。
② キッズゾーンは国の検討状況を踏まえ設置を検討する。
③ 保護者会や保育士の研修等でチャイルドビジョンを活用し、子どもの視界の狭さ等を再認識し対策している。



■他の質問と答弁は（要旨）

- 問 公共住宅等の居住者の修繕負担区分の見直しを！
- 答 都の見直しの動向を注視し、居住者の意見や要望を踏まえ検討する
- 問 災害時派遣可能なトイレトレーラーの導入を！
- 答 今後課題検証を進め試行的に導入することを含め検討する

ワクチンの予防接種に公費助成を！



6/28、乳幼児のワクチン接種の公費助成について
保健所にて相談 大串ひろやす

公 明党議員団として、7月1日「子どもの健康と命を守るための緊急要望書」を区長に提出しました。社会で高まる感染症のリスクと予防の大切さ、また、「受けやす

い体制をつくって、接種率をあげること」という基本的な考え方に基づいての対策が今求められていることを述べました！そして、具体的には、任意接種である以下4つのワクチンについて、公費助成を行うことを要望しました！

- A) ロタウイルスワクチン接種への公費助成
- B) 百日せき予防のため三種混合ワクチン(DPT)を追加で小学校就学前年度に接種できるよう公費助成を行うこと
- C) ポリオワクチンも同様に追加で小学校入学前年度に接種できるよう公費助成を行うこと
- D) おたふくかぜワクチンも同様に小学校就学前年度に2回目の接種ができるよう公費助成を行うこと



■詳しくは

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~ogushi/opinion/tushin.r2.pdf>

区民の皆様と力を合わせて 大好きな千代田をつくってまいります

作ろうマイ・タイムライン！
講習会が開かれる

高齢者の肺炎球菌ワクチンの
接種費用が無料となりました



6/16、区主催の防災セミナー「作ろうマイ・タイムライン」に参加（左から、川瀬防災士、大串ひろやす、米田かずや、講師の松尾先生）



5/30 担当課長より高齢者肺炎球菌ワクチン助成制度の説明を受ける（左から担当課長、斎藤さん、大串ひろやす、米田かずや）

区主催の防災セミナー「マイタイムライン作成講習会」が6月16日、区役所にて開かれました。講習会には、昨年度区の補助を受けて防災士の資格を取得した区民も参加しました。講師はマイ・タイムラインの第一人者である東京大学大学院総合防災情報研究センターの松尾一郎教授です。マイ・タイムラインとは、水害災害に対し家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列で整理した自身の防災行動計画です。公明党議員団(米田かずや)として昨年の第3回定例会にて、台風や集中豪雨などの水害災害に対して、マイ・タイムラインを家庭や企業、教育現場で作成し備えるよう質問しました。水害が起きた時には「役所が何とかしてくれる」という行政に依存する住民の意識を変えなければなりません。台風や集中豪雨がくる数日前には一人一人が自主的な避難をしなければ助かりません。「自主的な避難」、「住民主体の防災」へ、今後、各地域でマイタイムラインの作成が進むことを期待します！



本年4月より、65歳以上の高齢者の肺炎球菌ワクチンの予防接種費用が無料となりました！対象者には事前に予診票が送付され、指定医療機関に持参すると無料で接種が受けられます。肺炎は日本人の死因の第3位。肺炎で死亡する人の内、65歳以上の高齢者は97%を占めています。これは高齢化に伴い抗体価（免疫力）が低下するためです。国は2014年の10月に高齢者の肺炎球菌ワクチンを定期接種としました。担当課長は、体力や免疫力の落ちた高齢者は肺炎で重症になるリスクが高いとし、「予防接種を受けて健康寿命の延伸につなげてほしい」と。全額助成を受け、肺炎球菌ワクチンを接種した斎藤さんは「区民の健康のために素晴らしい制度を作っていただきありがたい」と喜ばれていました。公明党議員団(大串ひろやす)として、平成16年12月の定例会で高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を提案し翌年の4月より65歳以上の区民を対象に半額助成がスタートしたのです。今回の全額助成はまさに朗報となりました！

